

自宅が被災して住めなくなった場合、**避難所での生活が長期**に及びます。

# 大地震発生!

指定緊急避難場所へ避難した

揺れがおさまった…家は大丈夫か?

県内の約9割の住宅はすでに耐震化されています。

プロジェクト  
**TOUKAI** (東海) - 0  
倒壊

**大丈夫じゃない!**

避難生活する

大きく損壊、流出、全壊等しており、生活できない

**大丈夫!**

家で生活する

被害なし、または軽微な被害なので家で生活できる

発災～3日程度

避難生活へ

ライフラインが途絶えてしまった

食料・飲料水・トイレなどの備えがある

多様な避難生活

- 避難所へ避難
- 家族・親戚・友人宅へ避難
- 車庫等、敷地内の居住へ避難
- テント泊・車中泊避難

在宅生活を継続する

避難生活の継続\*

世帯ごとの事情で避難生活場所を移ることもある

在宅生活の継続

1週間程度～

- 電気・ガス・水道が復旧する
- コンビニやスーパーも営業を再開する

自宅が大きく損壊、流出、全壊等しており、避難生活を続けざるを得ない(数週間～数ヶ月)

日常生活へ戻る

1ヶ月程度～

応急仮設住宅等での生活

多様な住まいの再建



- 建設型仮設住宅
- 借上型仮設住宅
- 公営住宅の一時使用



- 賃貸(公営住宅を含む)
- 自宅を修理
- 自宅を再建・購入
- 災害公営住宅

仮設住宅等での生活を经ずに、自力で住宅の修理・建設・購入をする場合もあります。



静岡県『避難生活の手引き』P.7-8(一部加工)

※ 避難所での生活は、「阪神・淡路大震災(最長7ヶ月)」「東日本大震災(最長9ヶ月)」

あの人には  
なぜ耐震補強を  
おこなったのか?



静岡県



静岡県 暮らし・環境部 建築安全推進課  
TEL.054-221-3292 FAX.054-221-3567

耐震ナビ 検索 「耐震ナビ」から耐震診断の申込ができます。



## 孫たちを守るため

きっかけは東日本大震災の際に孫と孫の友人が自室のベッドの下に隠れていたことです。その頃からこの家でこの子たちを守るの**だろうかという不安**を抱いていました。

しかし、先代からこの家を大切にしていたので建て替えには踏み切れませんでした。修繕箇所が増えてきたので、家族で相談し、修繕と一緒に耐震補強を行う**決断**をしました。

80代



## 安心して住める家

老後をこの家で過ごすことを考えたとき、**水回りを使いやすくすることだけでなく、安心して住める家**にしたいと考えました。

今回、補強計画を作成してもらい、具体的などの部分が弱いのか、補強後に間取りがどうなるのかを検討することができました。

工事期間、金額ともに問題なかったため耐震補強を行うことにしました。

60代



## まずは自分から

町内会長を引き受けたため、町内の方に、防災対策として、一番に自分の命は自分で守ること、さらに日頃危険なところがあれば事前に直しておくことをお願いしていました。

ただ、いざわが家を見れば築40年であり、**まずは自分回りを見つめなければ**と、耐震診断したところ、想像以上に悪い**数値**だったので、耐震補強に着手しました。

80代



## 一人では逃げられない

亡き夫が昭和56年に建てたわが家が、耐震基準に足りていないことを知っていましたが、今まであまり気にせず暮らしていました。

私も高齢となり、普段の生活には何も心配ありませんが、**もしも地震が来たら一人では逃げられない**ので、耐震補強を行うことを決心しました。

80代

## リフォームと一緒に

知り合いの大工さんに**リフォームを相談したところ、耐震補強も一緒に行いませんかと**、提案されたのがきっかけでした。平屋だから大丈夫だと思っていましたが、耐震診断した結果、自宅の耐震性がなく、強い地震により倒壊することがわかりました。

60代

## 近所に迷惑をかけない

年寄り二人世帯なので耐震補強をするか迷っていましたが、**倒壊して近所に迷惑をかけてもいけない**ので、工事費の割増補助を受けられるこの際**と思い実施を決めました**。

80代



## 心配をかけたくない

夫婦の老後も気がかりになってきました。子どもは都会で暮らしていますが、**子どもになるべく心配をかけない**ため、思い切って耐震補強をすることにしました。

60代

# わたしが/ 耐震補強をした理由



## 短期間でできる

耐震補強の必要性が叫ばれ始めた約20年前に耐震診断を受けたところ、全面的な工事が必要だといわれましたが、費用面で難しさがあ、なかなか踏み切れませんでした。

技術的な進歩によって、工事箇所を絞り、**短期間ででき、費用も抑えられる**ことを知り、耐震補強を進めることにしました。

60代



## 南海トラフ巨大地震に備えて

東日本大震災の後に富士宮市で起きた地震がかなりの揺れで、家から飛び出した記憶があります。東日本大震災、熊本地震と全国各地で地震が続き、南海トラフ巨大地震も近い将来に必ずくると確信しました。

倒壊しなくとも、半壊では住むこともできず、**長期に渡り避難所生活を余儀なくされる**ため、今後の人生に与える影響を考え、準備の必要を感じました。

60代

## 避難生活に不安

高齢者の二人住まいで、地震発生時の緊急避難や**苦勞の多い避難所生活を考えると不安でいっぱい**になってきました。そこで耐震補強を実施し不安解消になればと決断しました。

設計の方がとても親身になって相談にのってくださり、また、作業の方々も礼儀正しく感謝しております。

70代



## 孫へのプレゼント

**孫が安心、安全な建物で暮らせるよう**私たちからのプレゼントのような気持ちで耐震補強をしました。

壁や床などが新しくなり、明るくなったと孫が喜んでくれたので、やって良かったと思います。

70代



## 避難所生活の様子



避難所



トイレ



トイレ



炊き出し



炊き出し



風呂



洗濯場